

九重山

概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続きました。

25～28日に機動観測を実施しました。火孔や噴気地帯の状況に変化は見られませんでした。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・極少量で、噴煙高度の最高は700m(10月：700m)でした(図1、図3)。

地震・微動活動の状況

火山性地震の発生回数は46回(10月：36回)で少ない状態で経過しました(図2、図4)。地震の震源は、主に久住山の西北西5km及び硫黄山付近でした(図6)。震度1以上を観測する地震はありませんでした。

火山性微動の発生はありませんでした。

地殻変動の状況

GPSによる地殻変動観測では、長者原 - 牧ノ戸峠、長者原 - 坊ガツル、牧ノ戸峠 - 坊ガツルの各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化は見られませんでした(図7)。

火口や噴気地帯の状況

25～28日に機動観測を実施しました。AからD領域の噴気地帯の状況に変化は見られませんでした(図9～図13)。

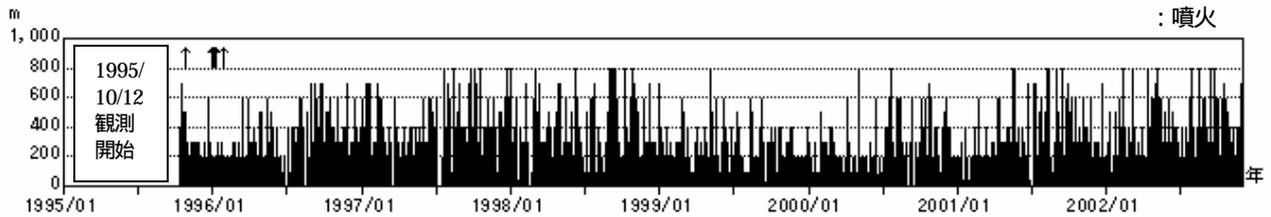


図1 日別噴煙最高高度(1995年10月12日～2002年11月30日)

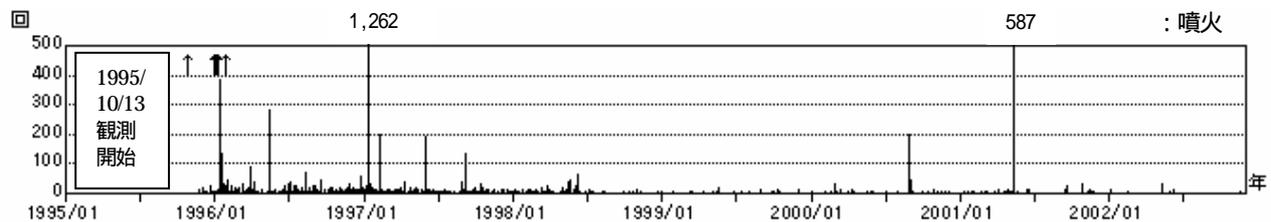


図2 日別地震回数(1995年10月13日～2002年11月30日)

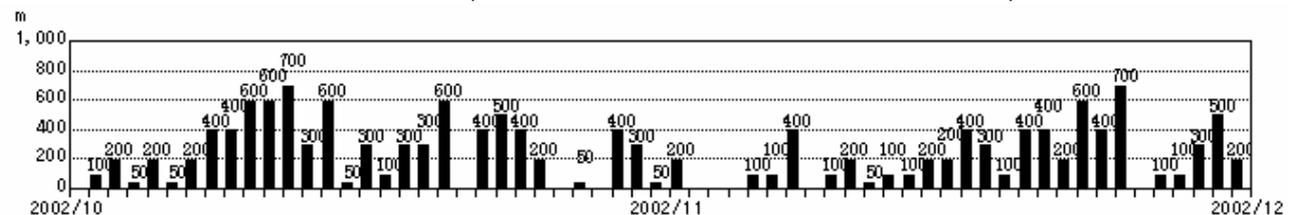


図3 日別噴煙最高高度(2002年10月1日～11月30日)

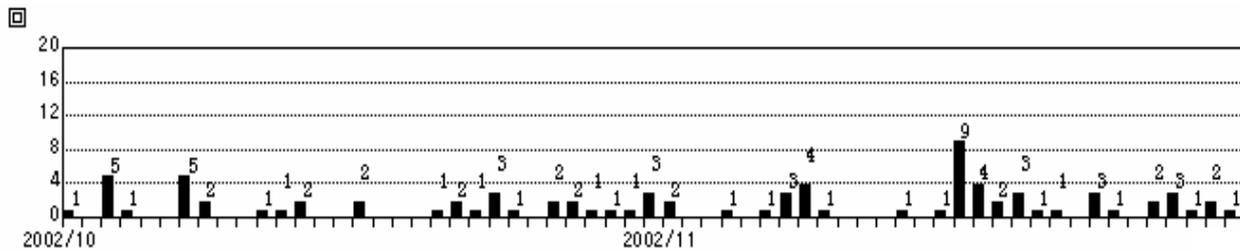


図4 日別地震回数(2002年10月1日~11月30日)

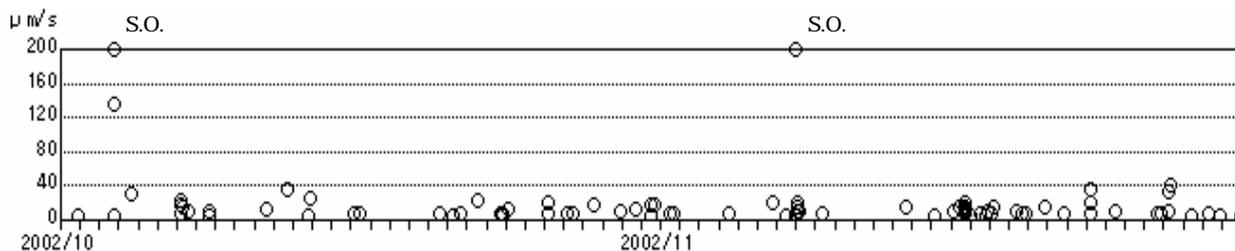


図5 火山性地震の最大振幅(A点上下動)(2002年10月1日~11月30日)

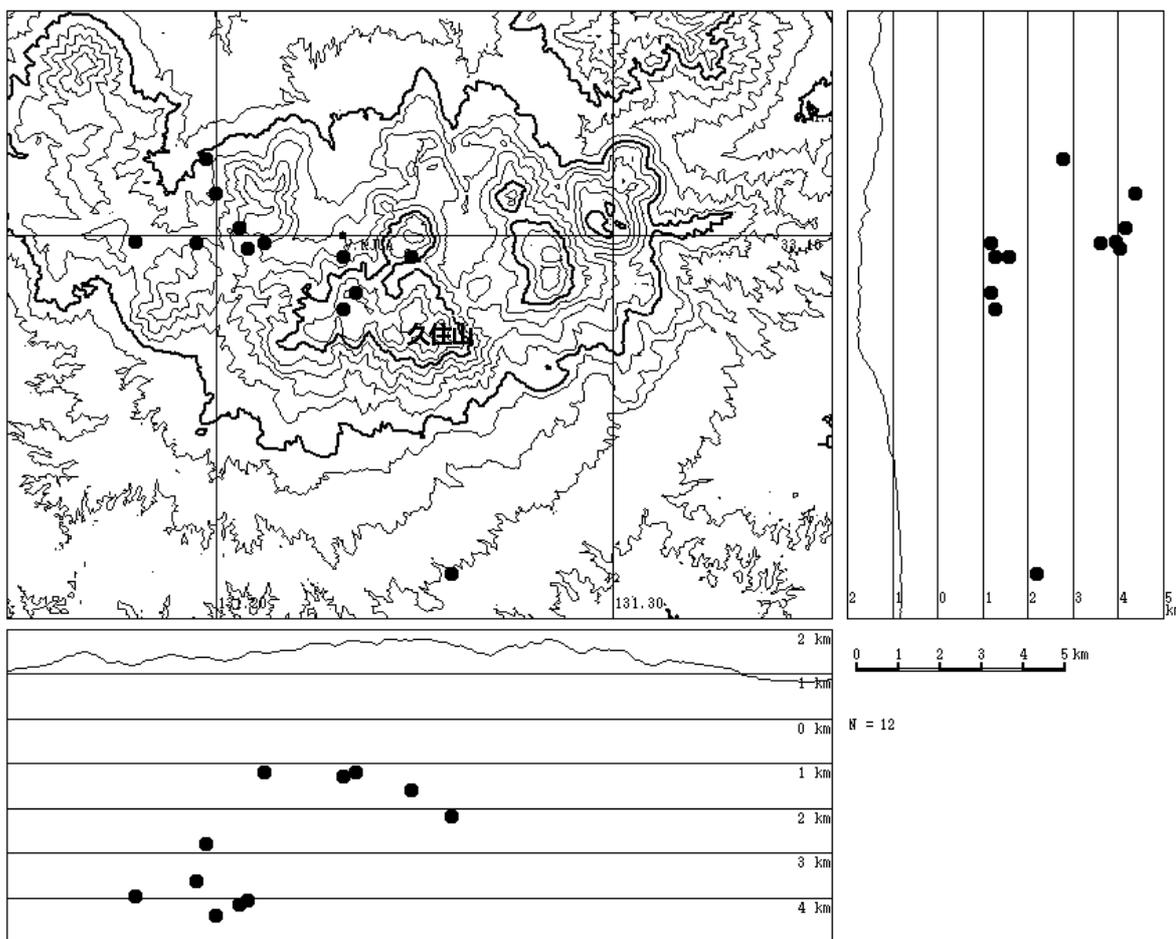


図6 火山性地震の震源分布(2002年10月1日~11月30日)

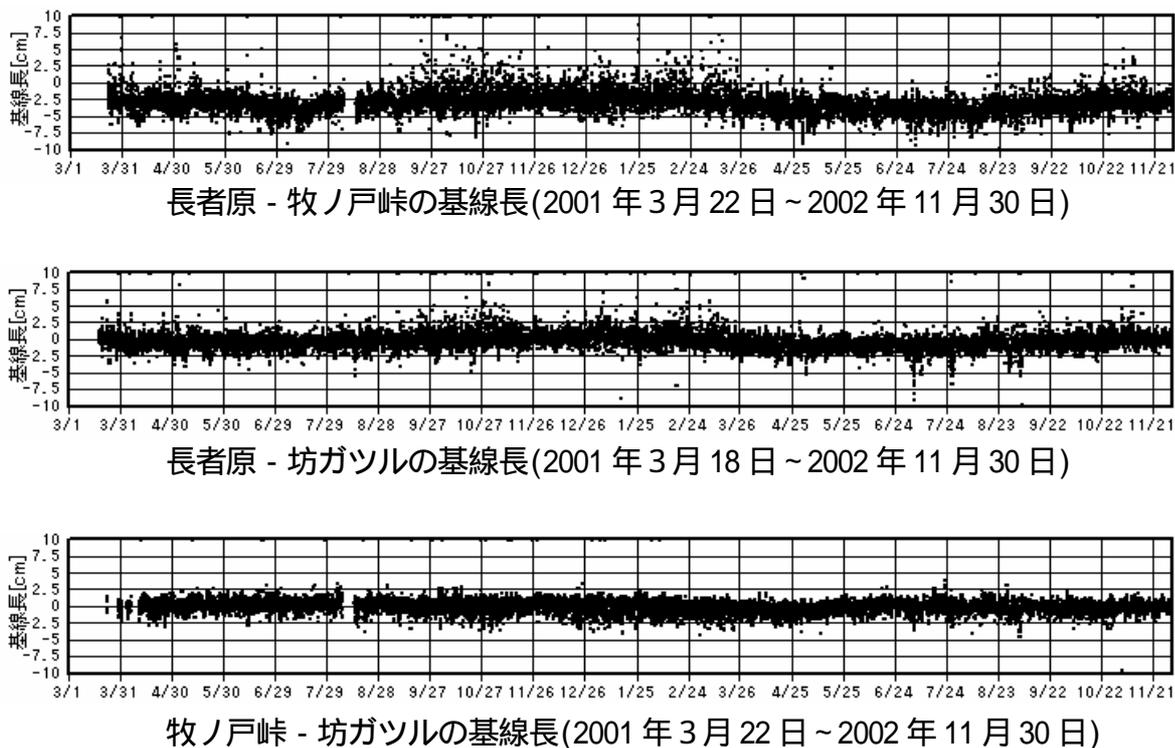


図7 GPSによる基線長

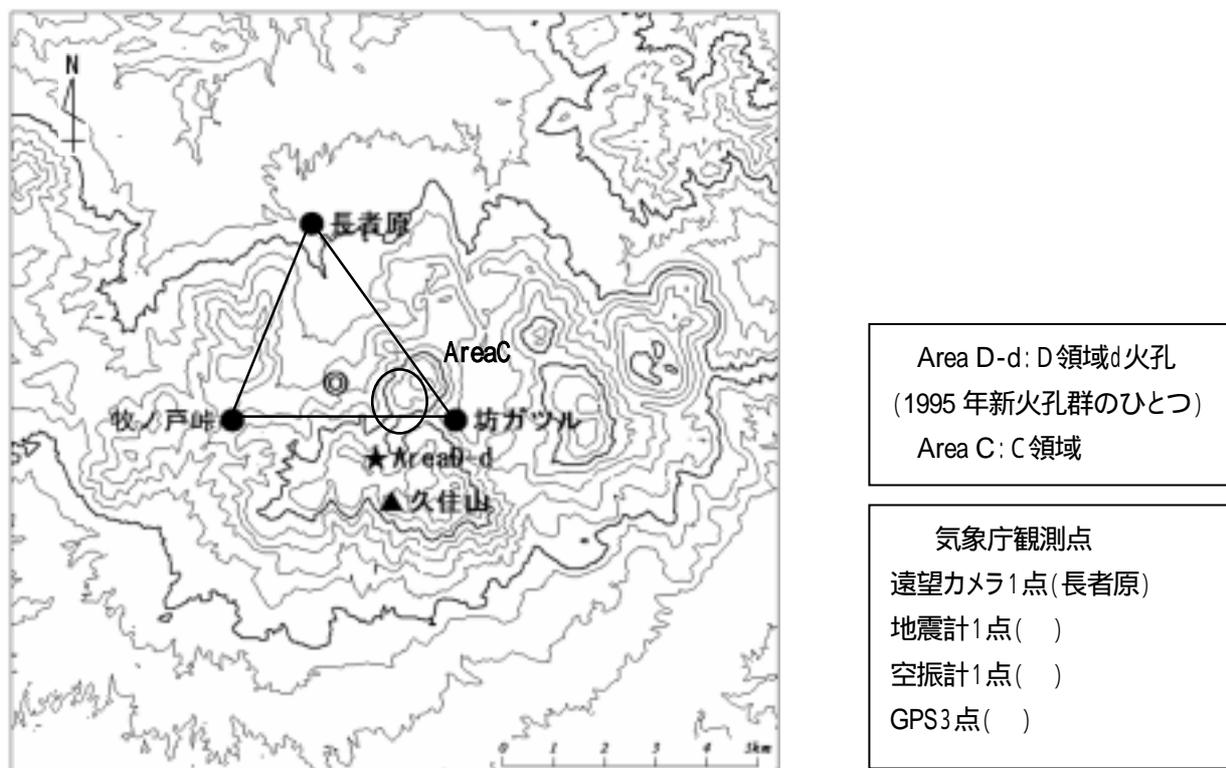


図8 観測点配置図

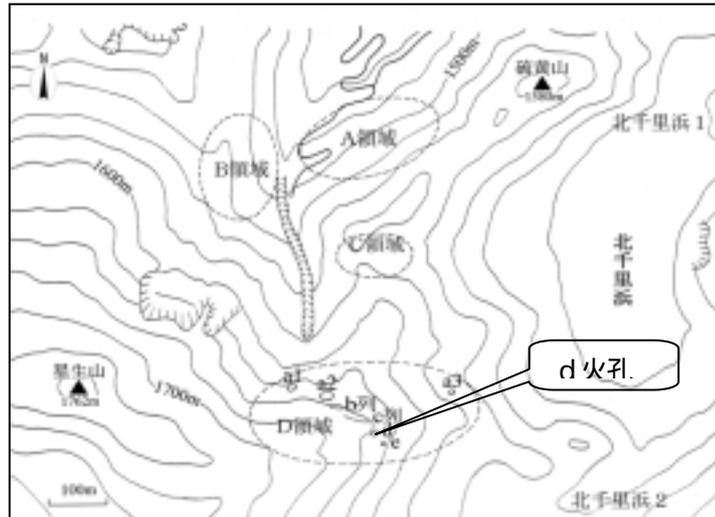


図9 九重山現地観測点配

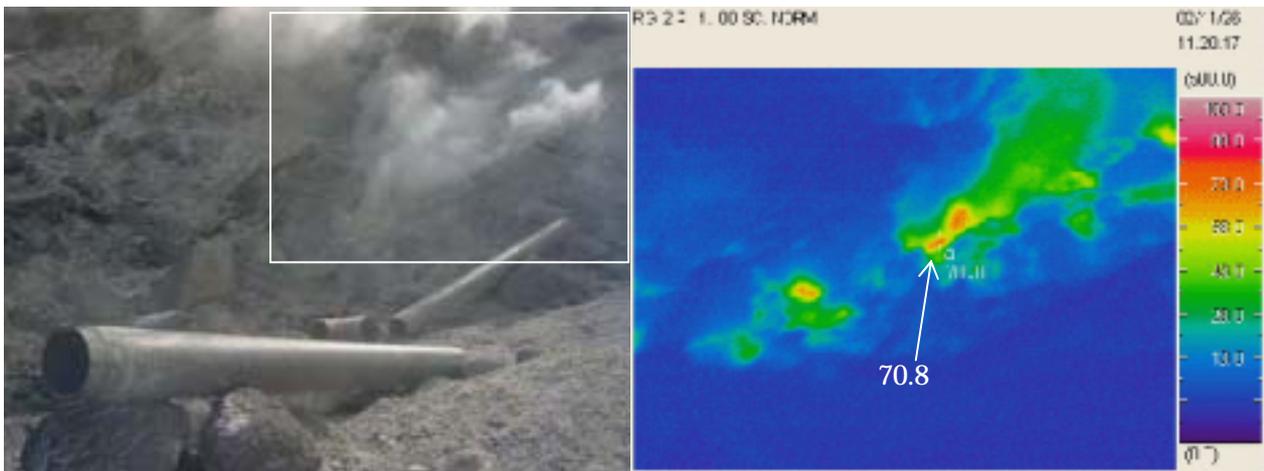


図10 A領域の状況と熱映像

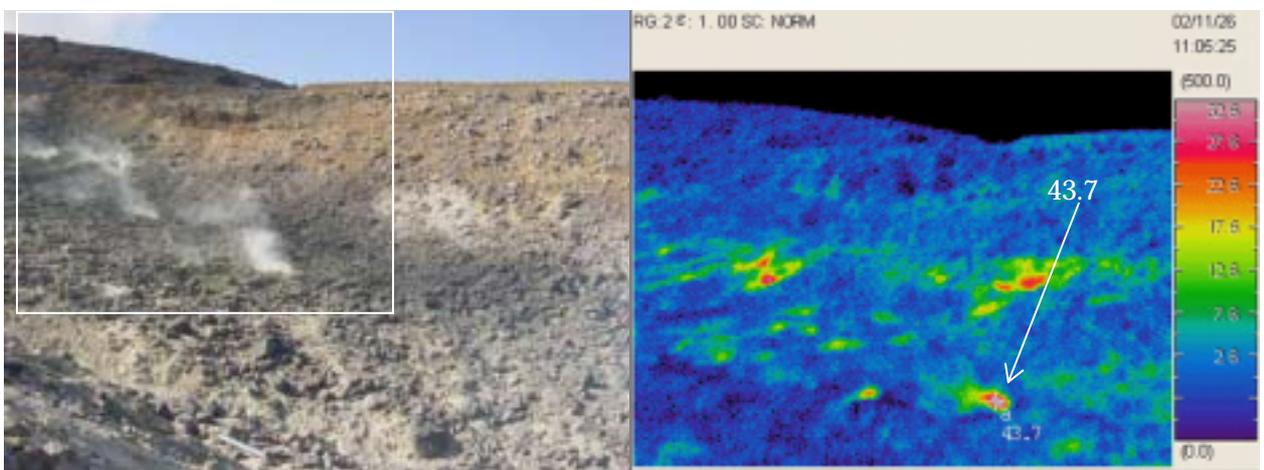


図11 B領域の状況と熱映像

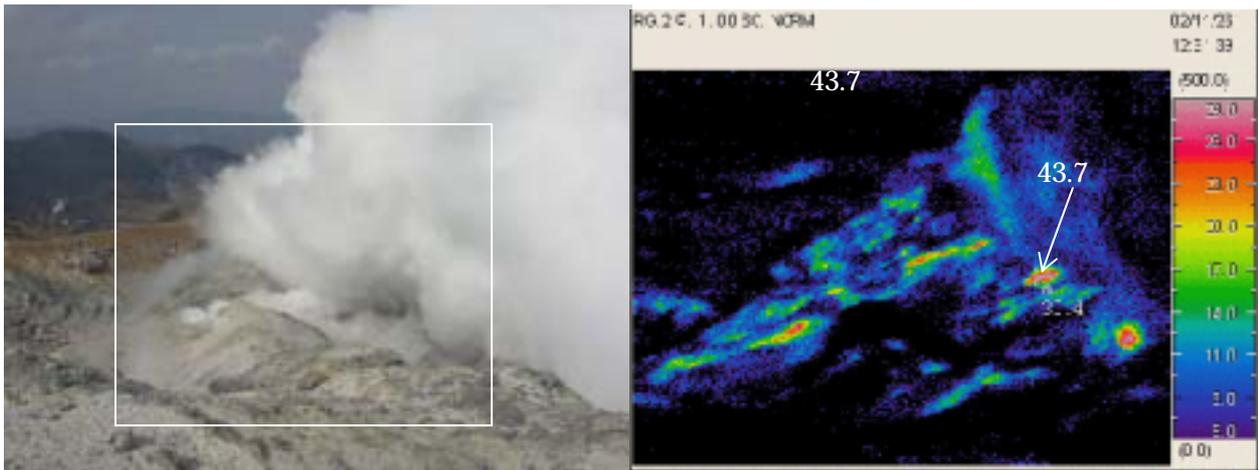


図12 C領域の状況と熱映像

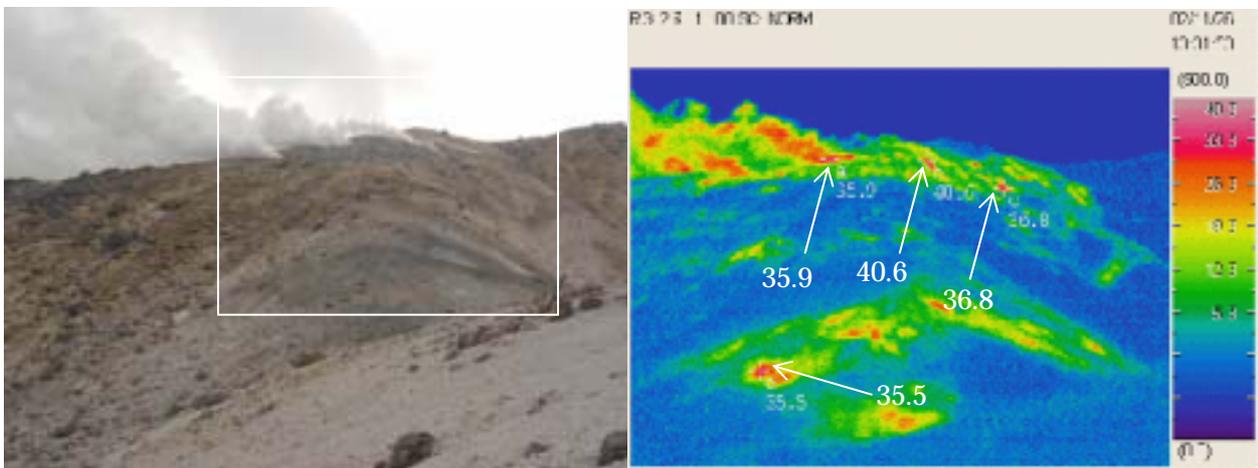


図13 D領域の状況と熱映像